

後期高齢者医療保険制度のお知らせ

問い合わせ 国民健康保険課 長寿医療係 ☎ 840-8127

1 一定以上の所得のある人は医療費の窓口負担割合が変わります

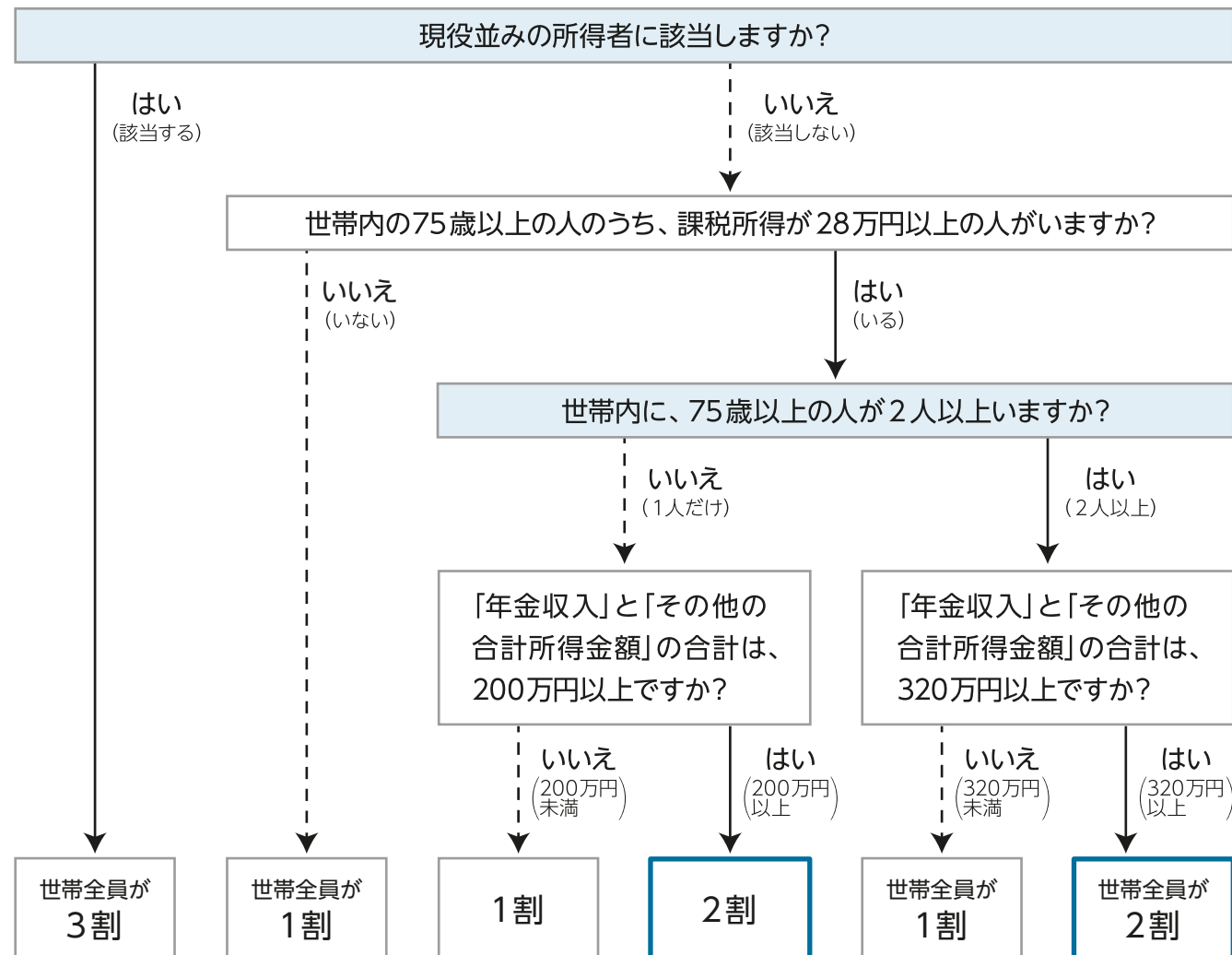
令和4年10月1日から、後期高齢者医療の被保険者で、一定以上所得のある人は、現役並み所得者（窓口負担割合3割）を除き、医療費の窓口負担が2割になります。

現 9月30日まで		新 10月1日から	
現役並み所得者	3割負担	現役並み所得者	3割負担
一般所得者等 ※住民税非課税世帯の人は、原則1割負担	1割負担	一定以上所得のある人	2割負担
		一般所得者等 ※住民税非課税世帯の人は、原則1割負担	1割負担

被保険者とは、75歳以上の人（65歳～74歳で一定の障害の状況にあると広域連合から認定を受けた人を含みます。）
現役並み所得者とは、課税所得145万円以上で、医療費の窓口負担割合が3割の人

2 窓口負担割合2割の対象となるかどうかの判定の流れ

世帯の窓口負担割合が2割の対象となるかどうかは、75歳以上の人の課税所得や年金収入をもとに、世帯単位で判定します。



伊川 治美さん 中央図書館に壁画を寄贈！

8月19日、伊川治美さんが描いた壁画「少女たちの合唱」を中央図書館に寄贈しました。伊川さんは「子どもたちの合唱の魅力に感動し、表情豊かに心地よいハーモニーを色や形を用いて表現しました。今はコロナで合唱など思う存分にできなくなっているが、再び発表できる舞台上で歌って楽しむ姿をもう一度という願いを込めて描きました」と話しました。寄贈された壁画は、中央図書館の児童図書コーナーに展示される予定です。



写真右が伊川治美さん

【沖縄の家「ヤー」】
地域おこし協力隊
ルドルフが行く #16

県外の方々が沖縄の風景を想像すると、綺麗な珊瑚の海に石垣、シーサーや瓦ふきの家（カーラヤー）が主役になります。沖縄のヤー（古民家はやっぱり沖縄の象徴で憧れです。石灰岩の石垣が目隠しとなって、親密的な屋敷に落ち着いた感じの木材の家屋は南国の島のエキゾチックな雰囲気が最も漂う空間です。ヤーは外観を楽しむだけでなく、畳に上がった瞬間に居心地が良くなって癒されます。持論ではありますが、人の暮らしが今より遥かにシンプルだった時代に戻る旅が出来さるからだと思います。まさに、絵に描いたようなオキナワライフです。島の老舗レストランの多くが便利なコンクリートの建物に移らず、未だにヤーにこだわる理由はよく解ります。

勿論、観光者の好みに沿って作られている訳ではなく、ヤーは、昔からの沖縄の風土、風習と生活、また現地で調達できる材料の合わせ技で設計されています。亜熱帯気候の沖縄の湿った空気と、激しい台風を和らげるためにラクギの並木、石垣の高さと通気性、中庭（ナー）の広さ、家屋の方向は絶妙にバランスが取れています。そのお蔭で、クーラーが無かった時代でも生活出来ていました。

屋根だけでも気候に合わせていろいろ工夫がされています。赤瓦はただの美しい見た目だけではなく、実は2種類の女瓦と男瓦の仕組みで固定されて、台風でも飛ばないようになっています。また、太陽光の熱の力で、瓦が屋根の下の湿気を吸収し、空調の役割と一緒に自然と

シロアリ対策にもなっています。世代をわたり、蓄積した知恵を感じます。

戦前、赤瓦は最先端の技術で、原材料は限られており、1889年まで沖縄の庶民は利用禁止でした（主に茅ぶきの家でした）。ただし、海人の茅は漁業で経済が盛んだったため、禁止令が解除されたら、高額な瓦の屋根が主流となりました。茅は字照屋などで調達出来ていたものの、瓦は南風原の工場で調達していたそうです。後になって糸満町にも瓦の製造業者が明治後期に現れたそう。茅や赤瓦も地産地消だったんです。

古民家に惹かれたもう一つの理由は、直近のユネスコにも出ていた国連環境計画（UNEP）で、伝統的知識は環境危機を緩和させられるという資料を公開しました。沖縄の場合、正に自然環境と融合した伝統的な家「ヤー」に含まれる技術を再発見することが、それに当てはまると感じます。

意外にもヤーに泊まる体験はなかなか出来ませんが、無人の古民家を見学できる施設はいくつかあります。糸満では「海のふろさと公園」の中に、戦前の街並みを再現したヤーを拝見できます。また、同じ公園にある海人工房の資料館に入場する人は、希望があればヤーの中を見学とガイドできる時期もあります。沖縄のヤーには為になる秘密がたくさん潜んでいます。もっと勉強して、沖縄のヤーについて伝承していきたいと思っています。

沖縄県糸満市 Itooman City

■人口			■火災・救急		
	7月	前月比		7月	前年比
人口	62,485	-54	火災	0件 (5件)	-1 (-11件)
男	31,663	-24	救急	444件 (2122件)	173 (439件)
女	30,822	-30			
世帯数	27,923	36			

※()内は令和4年の累計

■面積 46.60Km² (2021年10月1日現在)
■市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル
■市の花 日野草 ■市の魚 タマン
(人口、世帯数、火災・救急件数は2022年7月末現在)



「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまんをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書防災課（☎840-8118）まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り (FMたまん)

- 月～金
 - ① 7時45分～7時50分
 - ② 12時55分～13時
 - ③ 17時55分～18時
- 土～日
 - ④ 12時55分～13時